



安心・安全な江東区 子育て・産後ケア1番の 江東区に

- ひとり親支援（自立支援）
- 子育て（教育）
- 江東大家族（孤独を失くし、経済効果）

江東区議会議員 無所属

みつぎ

三次ゆりか 活動報告

平成30年11月発行

第7号



わたしが政治をおもしろくする！

3~9月の活動の一部をご報告します！

3月



防災ママカフェを豊洲で行いました。こどもの命を守るの一番近くにいる人。まずはその場を生きること。

5月



豊洲の街を綺麗にし隊を始めました。参加者募集してますので、皆さんで住んでる街を綺麗にしていきましょう。



LGBTレインボープライドに参加してきました。たくさんの方とハイタッチをして世界は一つだと感じました。



川崎市子ども夢パークに視察。子ども権利条例を学びフリースペースえんやプレーパークの重要性を感じました。

6月



木場にあるレインボーFMのラジオに出演させていただきました。ママそらには昔からお世話になっています。



ホームスタートのホームビジターになりました。孤育をなくし地域で子育てをしていけるように広めていきます。



朝の駅前のご挨拶では、皆さんの困ったことなどの要望を伺っております。お気軽にお声掛けくださいませ。

7月



深川消防署有明分署 庁舎落成式にいつてきました。今まではプレハブでした。これから期待しています。

8月



深川八幡祭り二の宮神輿をかつがせていただきました。江戸三大祭りです。水かけしてとても盛り上がりました。



夫の応援で毎回きていたコミックマーケット街頭演説ですが、いつからか演説をさせていただくようになりました。



手話推進議員連盟（仮）で明石市の手話言語・障害者コミュニケーション条例について視察決算に質問した。

9月



ボランティアまつり。次女はアンパンマンを遠くからすぐみつげられました。バイキンマンもいてとても嬉しそう。



定例会報告

手話を習い始め当事者の方々とコミュニケーションとれるようになり、課題が浮き彫りとなりました。末期ガンのご家族の声を届けましたが、まだまだ子育てしにくい江東区だと感じましたので、障害者について、子育てについてはもっと力を入れていかねばならないと考えました。

予算特別委員会質問 答弁内容（抜粋）

- Q** 重度の障害のある方に対しても余暇活動に支援すべきと考えるが見解を伺う。
- A** 重度の知的障害のある方への支援としては、様々な支援を行っているが、余暇活動支援については、現在、場の提供というかたちではないが、余暇活動等社会参加のための外出にかかる移動支援については実施している。その人の意思を尊重し、その人にあった支援が行えるよう、研究していく必要があると考えている。
- Q** 手話言語・障害者コミュニケーション条例をどのように考えているのか、手話へ理解及び普及に関する事業の充実について検討されたのか伺う。
- A** 障害者支援施策全体のバランスを考慮し、検討してまいりたい。小学校においても、今後も手話に触れる機会を設けるとともに、障害への理解を深める取り組みの一層の充実を図っていく。
- Q** 緊急一時保育や末期ガンへの認可保育園へきめ細かくポイントの見直しを求める。
- A** 末期がんの方への更なるポイント加算の見直しは考えていない。しかし、他自治体の状況等を踏まえながら、適切な基準について検討を重ねてまいる。
- Q** 特例などで延長ができるようにしていただきたいが、いかがか。
- A** 原則として最大1か月の範囲内での利用。しかしながら、過去にはさらに1か月の緊急一時保育の再利用を認めたというケースもある。周囲にお子さん保育できる方がほかに誰もいない場合などについては、状況に応じて保育課にご相談いただきたい。
- Q** 保育士の仕事の負担を減らすグランドシッターを区として推進しよびかけたらどうか
- A** 超高齢社会となった現在、元気なお年寄りに社会で活躍していただくことは、保育分野に限らず様々な場面で社会全体にとって有意義であると考えている。
- Q** 「子育て応援チケット」子育て保育バウチャーを導入を提案する
- A** 相当な財産負担になるので、導入については、慎重に検討する必要があるのではないかなと思っている。
- Q** 仕事を探しているが、保育園が見つからないため
- A** 仕事ができない人たちにむけても利用拡充、こちらもきめ細かいポイントの見直しをしてはいかがか。3か月の支給認定有効期間中であれば、保護者が就職つまり仕事を探しているという事由でも申込みいただくことが可能。
- Q** 保育所を増やしている中で公園内の禁煙ルールづくりをするときがきたと思っているが、見解を伺う。
- A** 遊び場と十分距離をとった場所での分煙が喫煙者のマナーと考えており、遊具の近傍には喫煙をご遠慮いただく看板を設置している。なお、児童遊園については、条例の趣旨を勘案して、要望あり、地元並びに地域の同意が得られた場所から禁煙としている。

- Q** 豊洲駅交番の隣に喫煙所を設置するための場所が空いてる。そこに喫煙所を設置すべきと考えるが、いかがか？
- A** 現在、豊洲駅前広場については設置の考えはない。
- Q** ぐるり公園に行っても日陰がない熱中症になるのでは？
- A** 遊具やベンチの周りには植栽をしているところだが、さらなる対応をしたい

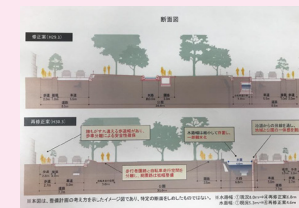
その他の質問は三次ゆりか HP や江東区議会の HP に細かく記載しておりますので、ご覧ください。

予算特別委員会質問を終えて、わたしの感想



バスや電車でベビーカーを持つお手伝いをお節介ささせていただいてありますが、先日「三次さん、ありがとうございます。」と、名前を言われ泣きそうになるほど嬉しかったです。地域のゴミ拾いもそうですが、人と人が繋がり、プラスの行動がうまれると感じました。引き続き地域のために活動をし、区民の声を区政に届けるスタイルを続けてまいります。お気軽にイベントやご相談などお問い合わせください。

修正案から再修正案ができました。区民の方が一生懸命よりよい公園にしたいと声をあげたからこそまで変わったのだと思います。区民の声というのが本当にあげたらわかるのだと実感しました。



《仙台堀川公園》

政治に関わって
いくと、
変えられるかも！

三次ゆりかプロフィール

1985年5月1日生まれ。江東区立東雲小学校、深川第五中学校、都立紅葉川高校卒。視覚障がい者だった祖母と父親の元で育つ。23歳で出産、いったん仕事を中断するもシングルマザーとなり起業。預け先に困った経験から自分のように困ってる母親も少なくないのでは…と、公私に渡る、子育て・母親支援のイベント企画、事業支援を展開。2015年江東区議会議員選挙 初当選。建設委員会、防災・まちづくり対策特別委員会 委員

活動歴

- ママパワーが日本を変えると信じ、ママを支える活動 J★mothers 設立
- BS フジ「ママボンキッキ」レギュラー過去出演
- 電子書籍「やっぱりゆりかはいくじなし★～ママが楽になる育自の方程式～」



LINEはこちら

